

2 授業づくり訪問

(1) ねらい

校内研究推進に係る授業づくりに関わり、授業力の向上及び校内研究の推進を支援する。

(2) 対象

校種	幼稚園	小学校	中学校	特別支援	合計
H29訪問予定校数	1	58	31	0	90

※ 2年間で全ての市立学校(園)を訪問する。原則、教育指導課で行っている教育課程訪問と交互に実施する。

(3) 期間 6月上旬～1月下旬

※ 期間をⅠ期(6月～9月頃)、Ⅱ期(9月頃～11月頃)、Ⅲ期(11月頃～1月)に分け、それぞれの時期に合わせた校内研究の推進を支援します。

※ 訪問の時期は実施年度によって変え、Ⅰ～Ⅲ期をバランスよく訪問できるようにします。

(4) 形態 半日×2日コース

※ 2日とも全教職員参加を原則とします。授業づくり及び校内研究推進に向けた有意義な話し合いができるよう、時間の確保や検討会の持ち方を工夫してください。

(5) 内容

<授業づくりの視点>

- | | |
|---|----|
| ◇「見通す・振り返る」学習活動を位置付けた授業づくり
(取組の視点) ・ 授業の導入で目標(めあて)を示す活動
・ 授業の終末に学習したことを振り返る活動 | など |
|---|----|

※ 研究のテーマとして設定することを求めたものではありません。

※ これまでの取組に見られた課題のいくつかを「取組の視点」として例示しました。参考にしながら、各校で取り組み方を工夫してください。

※ 「見通す・振り返る」学習活動は、それ自体を目的とするものではありません。今までの言語活動の充実に加え、授業や学習においての、習得方法や学習過程という児童生徒の学びの姿そのものが吟味されることが重要です。

<授業づくり訪問1(1日目)>

全職員による提案授業に係る指導案検討を通して、研究の視点に基づく提案や課題等の共有化を図る。持ち方については以下の具体例を参考にし、各校で工夫する。
--

1-A: グループ協議型

- ① 校内研究の概要について確認する。
- ② 指導案に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ③ グループに分かれ、提案された視点に基づいて指導案を検討する。
- ④ グループ協議の内容を全体で検討し、授業改善のポイントの共有化を図る。

1-B: 模擬授業型

- ① 校内研究の概要について確認する。
- ② 指導案に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ③ 提案された視点に基づいて模擬授業を行う。
- ④ 模擬授業を振り返りながら、提案された視点に基づいて指導案を検討する。
- ⑤ 指導案の修正点を協議し、授業改善のポイントの共有化を図る。

1-C: 先行授業型

- ① 先行授業を行う。
- ② 校内研究の概要について確認する。
- ③ 指導案に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ④ 先行授業を振り返りながら、提案された視点に基づいて指導案を検討する。
- ⑤ 指導案の修正点を協議し、授業改善のポイントの共有化を図る。

1-D: 全体協議型

- ① 校内研究の概要について確認する。
- ② 指導案に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ③ 全体で提案された視点に基づいて指導案を検討する。
- ④ 指導案の修正点を協議し、授業改善のポイントの共有化を図る。

- 検討会終了後に指導主事が話をする時間を設定し、指導案に関わる助言や「見通す・振り返る学習活動」等に関わる話を聞く。

<授業づくり訪問2 (2日目)>

「提案授業」という位置付けを明確にし、今後の授業改善につながる授業検討を全職員で行い、校内研究の継続化、活性化を目指す。持ち方については以下の例を参考にし、各校で検討する。

授業づくり訪問2

- ① 校内研究に係る提案授業を参観する。
- ② 授業検討会を行う。(持ち方については以下の例を参考にする)

2-A: ワークショップ形式

2-B: ペアでの話し合い

2-C: プロセスシート

2-D: フリーカード法

2-E: 協議・助言中心

- ③ 成果と課題の確認と授業改善のポイントの共有化を図る。

教育センターが「教育はいま第15号」で提案している授業検討会のモデルです。Webにも掲載してありますので、御確認ください。

- 検討会終了後に指導主事が話をする時間を設定し、提案授業に関わる助言や校内研究等に関わる話を聞く。